

研究主題「わかる！できる！楽しい！で“もっと”があふれる体育の授業～体づくり運動における主体的で対話的な学びを目指して～」における授業研究を行いました。5年生の授業では、エアロビクスで動きを持続する能力を、ながなわとびで巧みな動きを高める学習を行いました。その中で、Chromebook 等 ICT 機器の活用をした実践を行いましたのでご報告いたします。

1 学習内容

- ・エアロビクスで動きを持続する能力を高める
- ・ながなわ跳びで巧みな動きを高める。



2 Chromebook・ICT 機器の活用

- ・エアロビクスの動きを TV で映す。
- ・エアロビクスを実施した後、自身の運動強度をスクールタクトで記録する。
- ・学習の振り返りをスクールタクトで記録する。

3 担任の振り返り

エアロビクスを動画で示すことで、担任が手本を示す必要がなくなり、ポイントやコツ、頑張っている児童を認める声かけが行いやすくなりました。

運動強度や振り返りを記録した際、すべての児童が記入したものを一度で見ることができ、学習の状況を把握しやすくなりました。また、記録が残るため、児童自身が自分の運動について振り返ることができ、持久力が付いたことの実感につながりました。

Wi-Fi 環境の関係で、校庭での学習では、以前と同じ学習カードを使用しています。子供たちの力を伸ばすために、今後も学習カードについて検討していきたいと思っています。

